

令和2年度 おおい作業所事業報告
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

はじめに

今年度は、検温・健康チェック・施設内消毒・手洗い・消毒等の新型コロナウイルス感染防止対策に努めました。緊急事態宣言発令以降、様々な事が通常通りに行うことが難しくなり、外出などの余暇活動を自粛せざるを得ない状況でした。利用者の中には、自粛による我慢や楽しみがなくなってしまう事によるストレスにより、イライラや落ち着かない等生活面において変化が見られました。

B型においては、新型コロナウイルス感染防止で店内飲食ができず、テイクアウトのみの営業となり店舗の大幅減収となり、営業に力を入れ、市内公立保育所からおやつ注文を受けることが出来ました。また、店舗作業中心の利用者1名が6月に就職しました。大井中央公民館の建替え工事に伴い、2月末で「喫茶おおい」を閉店しました。

生活介護においては、マスクの着用ができない方が多く、自身から不調を訴えることが出来ない方も多いため、家庭と情報交換し健康観察等に努めました。

新たな作業として、マスクケースの製作販売、ふじみ野市からタクシー券印刷を受注しました。

1 支援の充実について

利用者一人ひとりが、豊かな人生を築いていけるよう、労働と生活の面で利用者が主体的に関われるように支援しました。

(1) 就労継続支援B型事業

ア 作業支援について

日々の活動においては、利用者が主体的仕事に向き合うことができるようにベーグル製造・販売をはじめ、資源回収、公園清掃、下請け受注などの作業を通じて支援しました。施設外就労では株式会社富澤(三芳町)にて作業支援を継続しました。

「喫茶おおい」「ベーぐるカフェ・にこまる」がテイクアウトのみの営業となり、ランチ提供に代わる販売方法を模索し、「喫茶おおい」のお弁当販売先の拡張、「カフェ・にこまる」ではベーグル予約販売、お弁当販売を新たに始めました。

ベーグルの販路拡大のための営業に力を入れ、市内公立保育所の受注、新たな注文販売先の確保に繋がりました。

イ 生活支援

- (ア) 健康診断等の実施、感染症対策など健康管理に努めました。
- (イ) 利用者自治やニーズの実現のため自治会活動を支援しました。
- (ウ) 余暇活動を通して社会性の獲得や豊かな生活作りにつながるよう支援しました。
- (エ) 就労や地域生活充実に向けて、埼玉県社協安心サポートや市内循環バスなどの各種サービスの情報提供と利用の支援をしました。

ウ 就労支援

実習などの就労に関する情報を提供しました。

エ 通所支援

就労継続支援B型については「自分の力で通所して働きに行く(来る)」ことを重視して、自転車や公共交通機関の利用などによる自力通所を奨励しました。就労継続支援B型20名中、自力通所者は自転車2名、市内循環バス利用6名、計10名になります。ただし、市内循環バスは運行本数が少なく帰りは利用できないので事業所で送迎しています。

(2) 生活介護事業

食事や排泄などの介護や日常生活上の取り組みを中心に、ゆったりとした日課で生活を楽しめるように支援しました。

ア 生産機会の提供

生活の彩り・メリハリとして、和紙工芸や名刺作製、下請等の生産活動・公園清掃を提供しました。

新しい生活様式に合わせ、新製品のマスクケースの製造販売をしました。

イ 生活支援

- (ア) 健康診断等の実施、感染症対策など健康管理に努めました。
- (イ) 利用者自治やニーズの実現のため自治会活動を支援しました。
- (ウ) 音楽活動や外出の取り組みを通して社会性の獲得や豊かな生活作りにつながるよう、コロナ対策を講じながら支援しました。
- (エ) 季節やニーズを反映した創作活動やおやつ作りを楽しめるように支援しました。

2 円滑な運営管理と業務の推進について

- (1) 個別支援計画・モニタリングや年間方針・総括の作成を重視して取り組みました。

- (2) 支援水準の向上と統一的な支援を図るため、班会議・職員会議を重視して取り組みました。また、ベーグル製造販売技術向上や商品開発・営業にも積極的に取り組みました。
- (3) 通信「もくせい」を毎月発行して地域との交流事業などの情報を地域に発信しました。資源回収協力者など「もくせい」を読んだ方からの「通信を毎月楽しみにしている」という声をいただいています。
- (4) 安全対策や危機管理について重視して取り組みました。特に感染症については手洗い・うがい・消毒・マスクの着用、施設内消毒等の予防対策強化に努めました。
また、食品管理に関しても、調理器具の点検等、注意喚起に努めました。

3 保護者との連携について

- (1) 今年度は、年3回の保護者会や年度当初の作業班別懇談会はコロナの関係で行わず、お知らせや連絡ノートを通して、情報交換に努めました。
- (2) 個別支援計画・モニタリングの際には利用者・保護者の要求や願いを受け止めるだけでなく、近い将来を意識し、適切な情報の提供や生活の提案などに努めました。

4 地域の連携について

- (1) 店舗運営・資源回収・公園清掃などの生産活動を通して、地域との交流、連携に努めていきました。
- (2) ボランティア活動の場としてボランティアを積極的に受け入れ体制があることを、通信「もくせい」に掲載し地域の方へアピールしました。
- (3) 各種現場実習の場として実習生の受入をしました。
 - ア 特別支援学校・学級の実習
 - イ 市内外の中学校の職場体験事業（コロナにより中止）
 - ウ 教員免許特例法の介護体験事業（コロナによりほぼキャンセル）
- (4) 高齢世帯においては、利用者及び家族対応のケースが多くなり、ニーズは多岐にわたります。その為、行政・社協・サービス事業所等の関係諸機関と連携し対応しました。

5 日中一時支援事業について

今年度の利用はありませんでした。

令和 2 年度おい作業所業務報告
(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 3 1 日)

1. 利用者の状況 (令和 3 年 3 月 3 1 日現在)

(1) 地域区分 (単位: 人)

地域	富士見市	ふじみ野市	三芳町	その他	合計
就労継続支援 B 型	0	19	1	0	20
生活介護	0	11	0	0	11

(2) 障害の程度 (単位: 人)

	○A	A	B	C	身障	合計
男性	10	7	2	0	2	21
女性	3	3	2	0	1	9
合計	13	10	4	0	3	30

(3) 障害支援区分 (単位: 人)

就労継続支援 B 型	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	非該当	合計
男性	0	0	2	2	1	0	8	13
女性	0	2	1	1	0	0	3	7
合計	0	2	3	3	1	0	11	20

生活介護	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	非該当	合計
男性	6	2	1	0	0	0	0	9
女性	2	0	0	0	0	0	0	2
合計	7	2	1	0	0	0	0	11

2. サービス利用状況 (令和 3 年 3 月 3 1 日現在)

サービス名	開所日数 (日)	延べ利用率 (人)	1 日の利用平均 (人)
就労継続支援 B 型	2 4 3	4 4 2 4	1 8 . 2
生活介護	2 4 3	1 9 8 3	8 . 2
日中一時支援	0	0	0

3. 工賃支給状況

サービス名	平均工賃月額	支払人数
就労継続支援 B 型	1 5, 7 3 5 円	2 0 人
生活介護	3, 3 1 8 円	1 1 人

4. 支援事業

(1) 就労継続支援B型事業

- ア 作業 ベーグル製造販売、資源回収、公園清掃、下請作業
 施設外就労作業、店舗運営
- イ 生活 余暇活動、暑気払い、忘年会、新年会
 自治会

(2) 生活介護事業

- ア 生産機会 和紙工芸品等の作成、野菜仕入販売、下請作業、公園清掃
- イ 生活 音楽、創作、おやつ作り、リラクゼーション、外出
 暑気払い、忘年会、新年会、自治会

(3) 主な実施事業

- 4月 3日 入所式
- 8月12日 暑気払い（グループに分かれ外食）
- 12月28日 忘年会（所内で実施）
- 1月 4日 初詣・新年会・成人を祝う会
- 3月31日 年度末レクリエーション（所内で実施）
- *コロナにより、暑気払い・日帰り旅行・いきいき運動会中止

5. 運営管理業務

- (1) 職員会議(月1回)
- (2) 保護者会(年3回)
- (3) ケースワーカーとの定期協議(年1回)
- (4) 浄化槽清掃(年2回)、施設内消毒(年3回)、空調清掃(年1回)
 消防設備保守点検(年2回)、床清掃(年4回)
- 5月29日 避難訓練（コロナの為立会い訓練は無し）
- 6月10・17日・8月5日 健康診断（三芳の森病院）
- 6月28日～個別支援計画提示
- 7月29日 ふじみ野市卒業生進路会議
- 8月13・14日 夏季特別日課
- 10月24日 県指導監査
- 10月31日 精神科定期相談
- 11月 1日～ モニタリング
- 2月12日 避難訓練

6. 研修

6月28日・7月1日：強度行動障害（基礎・実践）研修

9月29日：HACCP（ハサップ）講習会

11月18日：安全運転管理者講習会

*コロナにより予定していた研修が中止

*サービス管理責任者更新研修参加予定だが開催日程未定

*法人研修（虐待）中止

*適時ケース検討実施

7. 地域との連携

*コロナによりイベント中止

8. 視察・見学

11月11日 富士見特別支援学校進路連絡協議会参加

9. 実習受け入れ

(1) 「介護等体験」実習生の受け入れ（4名）

尚美大学8/31～9/4・10/19～23・10/26～30

日本女子体育大学10/26～30

*コロナにより他はキャンセル

(2) 特別支援学校実習生の受け入れ

6月18日～21日 富士見特別支援学校（1名）

6月24日～28日 富士見特別支援学校（1名）

7月22日～26日 所沢特おおぞら別支援学校（1名）

9月28日～10月2日 富士見特別支援学校（1名）

10月 5日～ 9日 富士見特別支援学校（1名）

10月12日～16日 所沢おおぞら特別支援学校（1名）

10月19日～23日 所沢おおぞら特別支援学校（1名）

12月 1日～ 4日 所沢おおぞら特別支援学校（1名）

1月18日～22日 富士見特別支援学校（1名）

(3) 中学校職場体験事業の受け入れ

*コロナにより今年度は中止

(4) 学校教員初任者研修

対象者はいませんでした

10. ボランティア関係

今年度のボランティアはいませんでした